ECE10-23-1 平成 22 年 8 月 30 日

第22回 ECE WG 打合せ要旨(案)

日時: 平成22年6月29日(火) 17:00~19:00

場所:日本工学会 事務所(東京都港区芝 5-26-20 建築会館 6 階)

出席者(順不同、敬称略):

主查 川島 一彦(東京工業大学大学院 教授)

委員 岡田 惠夫((社)日本技術士会、理事、研修委員会副委員長)

小松 生明((社)化学工学会人材育成センター 部長、化学工学分野)

高草木 明(東洋大学理工学部建築学科 教授)

中崎 良成 (NEC ラーニング 執行役員フェロー、基礎分野)

持田 侑宏 (フランステレコム(株) CTO、電気分野)

事務局 四戸 靖郷、柳川 隆之

配布資料:

ECE10-22-1 第 21 回 ECE WG 打合せ要旨(案)

ECE10-22-2 建築環境工学の領域(日本建築学会資料より抜粋)(高草木委員)

ECE10-22-3 日本建築学会学術講演プログラム抜粋(高草木委員)

ECE10-22-4 ECE プログラム案 (高草木委員)

ECE10-22-5 ECE プログラム例 (中崎委員)

ECE10-22-6 ECE テーマ候補案 (スマートグリッド) (中崎委員)

ECE10-22-7 グリーン・イノベーションによる成長の実現を目指して(岡田委員)

議 事:

1. 前回議事録確認

6月4日に開催された第21回打合せ要旨案が川島主査から説明され、原案通り確認された。

2. ナノテク ECE プログラムについて

川島主査、持田委員から、実践型研究リーダー養成事業に対するナノエレクトロニクス ECE プログラム(産総研)が採択されなかったこと、今後の方針を秋永委員と打合せることが報告された。なお、ナノテクに関する ECE プログラムの再立ち上げが重要であることから、ナノテク ECE プログラム開発・実施分科会は予定通り立ち上げる方向で、秋永委員を中心とするナノテクのコアメンバーと相談して行く方針が了解された。

- 3. 環境問題 ECE プログラムについて
 - 3-1. 環境工学関係の ECE プログラムの提案(高草木委員)

高草木委員から、日本建築学会における環境工学を構成する技術領域および学術講演会で取上げられた環境関係のテーマが紹介され、これに基づく ECE プログラムの提案が行われた。環境問題はエネルギー問題と一体で考えるべきこと、エネルギー問題のほうが比較的新鮮であること、低炭素社会や LOHAS などの統括的なキーワードと中東問題など現実の世界情勢やビジネスの問題を組み合わせてプログラムを構成するとよいなどの内容である。ただ、建築分野は専門が細分化されており、今すぐに具体的な方向を出せる状況でない。

これに続く議論では、東大生研の金子祥三教授が CO_2 削減についてよく研究しており、全体像、人材育成の点まで含めて話をしてもらうのに適任である(小松委員)、LOHASとい

う考え方がでてきたおかげで「ライフスタイル」という言葉に興味が集まっている(高草木 委員)などの意見が出された。

3-2. ECE プログラムのテーマとしてのスマートグリッドについての検討(中崎委員)

中崎委員から、日本規格協会から発行された図書「スマートグリッドの構成技術と標準化」に基づいて、スマートグリッドの実現に向けた技術課題の体系、プログラム内容、受講候補者などについて検討を行った結果が報告された。これに対して、スマートグリッドについて関心が高い学会の専門家に加わってもらい ECE プログラムをどう構成するかの検討を続けることになった。学会としては電気学会が適任であるということになり、事務局から適任者の推薦を依頼し、7月末か8月はじめに本WG委員との間の検討会を企画することになった。

3-3. グリーン・イノベーションについての検討(岡田委員)

岡田委員から、経団連でまとめた「グリーン・イノベーションによる成長の実現を目指して」と題する提言の基本的な考え方とその実現のための重要技術の構成が紹介された。これについての意見交換では、グリーンイノベーションは次世代に向けた戦略として大切である、わが国は基礎技術から長期的なリターンを得る国家的な戦略が欠如している、などの意見が出された。

その他、全般的な意見として次のようなものが出された。

- * ECE には知識の習得を図るものと考えることを主眼としたものがある。(高草木)
- * ECE のテーマとしては現在面白いと感じるもので 2~3 年先に使われるものがよい。(川島)
- * トップマネジメントを対象とする場合、リベラルアート、教養、カルチャーに関する比率 を大きくすることが歓迎される。(岡田委員)
- * 化学工学会の経営ゼミナールでは考える機会を与えることを主眼としている。(小松)

4. その他

第23回 ECEWG は平成22年8月30日(月) 10:00-12:00 に日本工学会会議室で開催する。

以上